

公益財団法人韓国教育財団

2025 年度(令和 7 年度)事業計画

I. 公益目的事業

1. 奨学金の支給事業

学業に専念する学生の学費及び生活費の支援を通して奨学金援助を行い、社会に貢献できる人材を育成するのが支給目的である。1966 年開始しから本年度で 59 年目を迎える。

支給対象	選抜人数(24 年度)	1 人当年間支給額	支給総額	備 考
国内 高校生	20 名(20 名)	100,000 円	2,000,000 円	一般奨学金
国内 大学生	60 名(60 名)	500,000 円	30,000,000 円	一般奨学金
国内 大学院生	6 名(6 名)	1,000,000 円	6,000,000 円	一般奨学金
	3 名(3 名)	1,000,000 円	3,000,000 円	碧峯奨学金
海外 MBA 課程	1 名(1 名)	12,000,000 円	12,000,000 円	碧峯奨学金
合計	90 名(90 名)		53,000,000 円	

① 面接審査の継続実施

2024 年度導入した面接審査は今後も継続する。学生からは、『自身のアピールを直接できた』、『審査員からのアドバイスがためになった』、また、面接官からは『在日学生への希望が持てた』、『学生の問題意識を再確認できた』など非常に効果的だったと判断。

② 奨学証書授与式の開催

同様に昨年実施した駐日韓国大使館にての奨学証書授与式が対面及びオンラインにより実施したところ、学生交流にもつながり非常に好評だったため継続するものとする。また、寄附者も招待し、来賓紹介をする。

③ 奨学生エッセイ集『灯』の復刊

1998 年に財団で制作されていた『灯』を改めて刊行させ、同紙に奨学生のエッセイを収録し出版させ、学生や対外的広報物として活用する。

④ 勤労奨学金の新設

学費の支弁が困難な都内学部生を対象に、財団事務のサポート要員としてアルバイトをしてもらい、その報酬を勤労奨学金として支給する。

勤務条件: 支給額 1,500 円/時間、10～15 時間勤務

対象人数: 1～2 名(繁忙時期などで流動的に選抜)

2. 韓国学の振興

① 韓国語能力試験の管理

駐日本国大韓民国大使館主管の韓国語能力試験を財団がサポートし、その管理業務を担当する。受験者の拡大を図るべく、利便性の高い試験会場を拡充しており、毎年実施の TOPIK フォーラムを開催する予定。

2025 年度試験実施予定日

回 数	試験実施日	願書受付期間	会場(昨年度会場数)
第 99 回	04 月 13 日(日)	01 月 10 日～01 月 24 日	東京など 60 会場
第 101 回	07 月 13 日(日)	04 月 25 日～05 月 09 日	東京など 60 会場予定
第 102 回	10 月 19 日(日)	07 月 14 日～07 月 28 日	東京など 65 会場予定
第 103 回	11 月 16 日(日)	08 月 18 日～09 月 01 日	東京など 65 会場予定

※第 100 回は日本では実施しないが、記念イベントを 12 月 13 日(土)実施予定

【第 4 回 TOPIK FORUM】

開催日: 2025 年 6 月 14 日(土)

開催会場: 立教大学

テーマ: TOPIK と韓国語採択学校の教育課程連携

② 韓国語弁論大会への支援

今年度も継続して、在日本大韓民国民団及び教育院が共催する在日韓国人などの韓国語学習者より自らのテーマを韓国語で発表する弁論大会へ財団は支援金を支出する。

主管: 千葉韓国教育院

予定日: 2025 年 7 月 19 日(土)

支援額: 700,000 円

③ 在日韓国人教育研究大会の後援

今年度も継続して、在日韓国人及び韓国派遣教員が各々教育に関わる研究を発表する官民後援の研究大会が開催される予定で、財団からは後援金を支出する。

開催日: 2025 年 8 月 18 日(月)～19 日(火)

主管: 学校法人白頭学園 建国幼・初・中高等学校

支援額: 700,000 円

④ 韓国留学博覧会への支援

韓国留学フェアは、多くの学生や教育機関など関心を持つ人々に参加の機会を提供するため毎年韓国の 60 大学が参加し、近年ではオンラインとオフラインの両方で同時に開催している。

開催日： 2025 年 5 月 11 日(日)

主催： 国立国際教育院 共同主管：福岡韓国教育院

支援額： 100,000 円

⑤ K-POP カバーダンス大会への支援

K-POP は今や単なる流行を越えて、高校、専門学校、大学の正規教科や部活動など、教育課程の一環として制度化されている。この流れに合わせて、K-POP カバーダンスと呼ばれる大会やフェスティバルが幅広く開催され、そのイベントをサポートする。

開催日： 2025 年 8 月 6 日(水)

主管： 韓国教育院

支援額： 100,000 円

Ⅱ. 収益事業

1. 不動産賃貸

今年度も継続して、所有する居住用マンションの賃貸収益を奨学金給付の財源の一助とする。また、必要な修繕やリフォームも実施し、入居率の改善に努めるとともに、賃貸料水準の維持を図ることで、奨学金支給事業の安定的な財源とする。さらに、収益性の低い物件や修繕・入居者対応など運用困難な地方物件売却を進める中、和歌山の物件の売却を進める。

Ⅲ. その他の事業

1. 財団創立 60 周年記念誌の制作

1963 年在日韓国人教育後援会設立から 60 周年を記念し、財団法人保管及び対外広報用として記念誌を制作する。

ー予算(概算): 300 万円 ※協賛を集い、別紙として協賛社リストを作成

ーページ数: 200 ページ以上

ー発刊時期: 2025 年 5 月予定

2 財団研究本(シンポジウム)の制作

60 周年記念誌とは別として、昨年開催された記念式でのシンポジウム発表内容の補完版を一般向けの在日研究資料として I S B N 取得出版する。

ー予算(概算): 50 万円

ーページ数: 100 ページ以上

一発刊時期:2025 年 5 月予定